

第4次秋田市子ども・子育て未来プラン進捗状況（基本施策・指標）

基本目標1 質の高い幼児教育・保育の総合的な提供

基本施策1-1 幼児教育・保育環境の充実

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
保育所等の待機児童数 (①4月1日現在)	0人	0人	0人	0人	100%	A	申請者に施設の空き情報を提供し、待機児童の解消に努めた。	引き続き、申請者に施設の空き情報を提供し、待機児童の解消に努める。	子ども育成課
保育所等の待機児童数 (②3月1日現在)	6人	0人	0人	0人	100%	A	申請者に施設の空き情報を提供し、待機児童の解消に努めた。	引き続き、申請者に施設の空き情報を提供し、待機児童の解消に努める。	子ども育成課

基本施策1-2 幼児教育・保育の質の向上

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
教育保育活動支援(要請訪問・園内研修)による訪問指導実施施設数	53施設	52施設	60施設	68施設	113.3%	A	68施設(重複除く)に対し、延58施設の園内研修又は要請訪問を行うとともに、教育・保育の質の向上を図る取組として小規模保育等保育研修会を行った。当該研修会に16施設が参加したことで延74施設の活用となった。	1施設の訪問回数を原則1回とすることで、より多くの施設に訪問することができるようにし、2年に1回以上の活用を呼びかけていく。訪問での支援を受けることが難しい小規模保育施設等は、研修会等により保育の質の向上を図ることができるようにする。	子ども育成課

基本施策1-3 多様な保育ニーズへの対応

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
延長保育実施施設の割合	93.1%	93.9%	93.1%	93.9%	100.9%	A	延長保育事業を実施する認可保育所(39施設)、認定こども園(33施設)および地域型保育事業(6施設)に対して補助を行った。	引き続き、延長保育の需要に応じた受け皿確保に努める。	子ども育成課
休日保育実施施設数	14施設	14施設	15施設	13施設	86.7%	B	休日保育実施施設の実施状況をより詳細に周知するため、各施設に照会をかけ秋田市ホームページ上で情報を公開した。	引き続き、休日保育の需要に応じた受け皿確保に努める。	子ども育成課

基本目標2 地域におけるこども・子育て支援の充実

基本施策2-1 地域における子育て支援の充実

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
地域子育て支援拠点施設(9箇所)の延べ利用人数(こどもの年間利用者人数)	58,934人	53,545人	60,000人	54,158人	90.3%	B	イベント内容を工夫して取り組んでいるほか、9箇所の拠点施設で開催されるイベントをまとめたカレンダーの作成や、SNSを積極的に活用した周知を行い、利用者数の増加を目指し取り組んだ。	引き続き魅力的なイベントを企画し、SNSを活用した周知を行うとともに、子ども数が減少傾向にある中、市民ニーズを捉えながら、なるべく多くのイベントに参加してもらうよう工夫する。	子育て相談支援課
ファミリー・サポート・センター利用会員一人に対する協力会員数 (実働人数ベース:協力会員数/利用会員数)	0.35人	0.41人	0.4人	0.4人	100%	A	会員数の増加を目指し、SNSや広報等による周知のほか、地区民児協の会合に出席し、会員募集および利用勧奨を行った。	利用実績のない利用会員が多いことから、利用実例の紹介など、利用増に向けて取り組むとともに、会員の確保に努める。	子育て相談支援課
子育てサポートクーポン券交付率	85.0%	86.6%	90.0%	84.2%	93.6%	B	事業の周知にあたり、広報誌のほか、SNSの活用特に力を入れたほか、利用者の意見を踏まえ、より利用しやすい内容となるよう、次年度に向けてプランの改善を行った。	新プランに関する内容を含め、引き続きSNSを活用した効果的な情報発信に努める。	子育て相談支援課
多子世帯サポートクーポン券交付率	71.0%	76.4%	80.0%	77.2%	96.5%	B	事業の周知にあたり、広報誌のほか、SNSの活用特に力を入れたほか、利用者の意見を踏まえ、より利用しやすい内容となるよう、次年度に向けてプランの改善を行った。	新プランに関する内容を含め、引き続きSNSを活用した効果的な情報発信に努める。	子育て相談支援課

基本施策2-2 放課後児童対策の充実

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
放課後児童クラブ待機児童数 (5月1日現在)	11人	15人	0人	38人	-245.5%	D	令和7年度より、5クラブ増の61クラブに運営を委託しているが、従来から待機児童が生じている学区に加え新たな学区でも待機児童が生じている。	定員の空き状況を公開し、利用可能な定員を有効に活用するとともに、待機児童の解消を目的とした新規開設や増設を進める。	子ども福祉課
保護者アンケートによる満足度 (①放課後児童クラブ)	94.3%	95.2%	100%	96.0%	96.0%	B	保護者から高い評価を得ている。	引き続き質の高い保育サービスが提供されるよう努める。	子ども福祉課
保護者アンケートによる満足度 (②児童館等)	94.0%	96.0%	100%	95.7%	95.7%	B	保護者から高い評価を得ている。	引き続き、研修を通じた児童館職員の資質向上等に努めるほか、必要な施設設備を実施する。	子ども福祉課
放課後児童クラブにおける定員数 (5月1日現在)	2,526人	2,611人	3,006人	2,821人	93.8%	B	令和7年度より、5クラブ増の61クラブに運営を委託している。	待機児童の解消を目的とした新規開設や増設を進める。	子ども福祉課
障がい児等の特別な配慮を要する児童の受入れクラブ数の割合	56.4%	64.3%	76.4%	68.9%	90.2%	B	令和7年度より、6クラブ増の42クラブが障がい児等の受入れ体制を整備したことにより、割合が増加した。	障がい児等の受入れ体制を整備した場合の助成を引き続き周知する。	子ども福祉課

基本目標3 妊娠期からの切れ目ない支援

基本施策3-1 妊産婦・乳幼児に関する切れ目ない保健対策の充実

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
ネウボラでの妊婦初回面接率	95.6%	97.1%	100%	96.9%	96.9%	B	母子保健コーディネーター等が、妊娠届や転入の際にネウボラ窓口で妊婦と面談し、相談支援を行った。面談率向上のため、関係機関と連携し周知を行うとともに、面談未実施者への勧奨を行った。	関係機関と連携し面談を周知するとともに、未実施者への勧奨に努める。	子ども健康課
乳児家庭全戸訪問実施率	97.4%	98.7%	100%	98.9%	98.9%	B	妊娠届出時等に全妊婦へリーフレットを配布し事業PRを行うとともに、訪問未実施者には勧奨連絡を行った。	リーフレットの配布等により事業の周知および勧奨に努める。	子ども健康課
乳幼児健康診査受診率	95.8%	97.6%	100%	94.2%	94.2%	B	健診未受診者に対して、個別通知や電話等により受診勧奨等を行った。	個別通知等により、健診の必要性の周知および受診勧奨に努める。	子ども健康課
予防接種接種率 麻しん風しん第2期	94.4%	94.8%	100%	95.1%	95.1%	B	保護者宛の個別通知や広報あきた等のほか、保育施設へのリーフレット掲示依頼や就学時健診時でのお知らせ配布などにより接種勧奨を行った。	対象者や未接種者への接種勧奨通知を引き続き実施し、接種率の向上を図っていきたい。	健康管理課

基本施策3-2 食育の推進

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
1日1回はみんなで食事をする割合 (3歳児健康診査アンケートより)	99.1%	99.0%	100%	98.8%	98.8%	B	各種教室や地域の健康教育、ホームページ等により情報発信を行った。	各種教室や地域の健康教育等を開催するほか、新たに幼児食に関する動画を作成し、情報発信する。	子ども健康課
離乳食教室や幼児食教室参加者の 「食事や栄養に関する不安や心配事が解消された人」の割合	97.8%	95.9%	100%	93.5%	93.5%	B	講話や調理実技等による情報提供を行い、個別相談に対応した。	講話や個別相談を行うとともに、実技指導やグルーブトークを充実させることで、参加者の不安解消に努める。	子ども健康課

基本施策3-3 小児医療への支援

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
小児慢性特定疾病自立支援事業参加者の満足度	100%	100%	100%	93.3%	93.3%	B	小児慢性特定疾病医療受給者の保護者を対象とし、就職・就労支援に関する療育相談会を実施した。	対象者のニーズに添った実施内容を検討する。	子ども健康課
市立秋田総合病院の小児科救急外来の認知度	87.0%	—	90.4%	—	—	—	小児科救急外来について、秋田市子育て情報HPや秋田市子育て情報誌、母子手帳等に掲載し、周知を行った。 ※指標に係るニーズ調査は5年に1度実施しており、次回は令和10年度に実施予定	令和7年度で子育て情報サイトが終了のため、子育て情報Instagramでの周知を実施する。	子ども総務課

基本目標4 次代を担うこども・若者の育成支援の充実

基本施策4-1 こどもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
「自分は、将来の夢や目標をもっている」と思う児童生徒の割合 (①小学生)	85.1%	84.2%	93.0%	86.1%	92.6%	B	自分を見つめ、自らの生き方を考え、人の役に立つことの喜びや働くことの大切さを実感できる学習活動の充実に努めるとともに、発達の段階を踏まえたきめ細かな指導を行った。	地域や家庭と連携を図りながら、自己と他者、社会とのつながりを実感する啓発的な体験活動の充実に努める。	学校教育課
「自分は、将来の夢や目標をもっている」と思う児童生徒の割合 (②中学生)	73.6%	73.8%	85.0%	73.2%	86.1%	B	自分を見つめ、自らの生き方を考え、人の役に立つことの喜びや働くことの大切さを実感できる学習活動の充実に努めるとともに、発達の段階を踏まえたきめ細かな指導を行った。	地域や家庭と連携を図りながら、自己と他者、社会とのつながりを実感する啓発的な体験活動の充実に努める。	学校教育課
「人の役に立つ人間になりたい」と思う児童生徒の割合 (①小学生)	97.6%	96.6%	99.0%	97.8%	98.8%	B	自分を見つめ、自らの生き方を考え、人の役に立つことの喜びや働くことの大切さを実感できる学習活動の充実に努めるとともに、発達の段階を踏まえたきめ細かな指導を行った。	地域や家庭と連携を図りながら、自己と他者、社会とのつながりを実感する啓発的な体験活動の充実に努める。	学校教育課
「人の役に立つ人間になりたい」と思う児童生徒の割合 (②中学生)	97.3%	97.5%	99.0%	97.3%	98.3%	B	自分を見つめ、自らの生き方を考え、人の役に立つことの喜びや働くことの大切さを実感できる学習活動の充実に努めるとともに、発達の段階を踏まえたきめ細かな指導を行った。	地域や家庭と連携を図りながら、自己と他者、社会とのつながりを実感する啓発的な体験活動の充実に努める。	学校教育課
「自分には、よいところがある」と思う児童生徒の割合 (①小学生)	85.3%	85.3%	90.0%	90.1%	100.1%	A	自分を見つめ、自らの生き方を考え、人の役に立つことの喜びや働くことの大切さを実感できる学習活動の充実に努めるとともに、発達の段階を踏まえたきめ細かな指導を行った。	地域や家庭と連携を図りながら、自己と他者、社会とのつながりを実感する啓発的な体験活動の充実に努める。	学校教育課
「自分には、よいところがある」と思う児童生徒の割合 (②中学生)	85.1%	87.3%	90.0%	88.9%	98.8%	B	自分を見つめ、自らの生き方を考え、人の役に立つことの喜びや働くことの大切さを実感できる学習活動の充実に努めるとともに、発達の段階を踏まえたきめ細かな指導を行った。	地域や家庭と連携を図りながら、自己と他者、社会とのつながりを実感する啓発的な体験活動の充実に努める。	学校教育課

基本施策4-2 家庭や地域の教育力の向上

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
市民サービスセンター等が主催する家族や親子で参加する講座や事業の認知度	56.6%	—	71.7%	—	—	—	広報あきたやホームページのほか、公式LINEやInstagram、Xを使用し、講座や事業の認知度の向上に努めた。 ※指標に係るニーズ調査は5年に1度実施しており、次回は令和10年度に実施予定	今後も色々な媒体を使用し、認知度の向上に努める。	生涯学習室

基本施策4-3 青少年健全育成活動の推進

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
街頭巡回声かけ・話しかけ人数(年間)	10,322人	10,921人	13,770人	12,141人	88.1%	B	市内各地域や秋田駅前周辺での街頭巡回を行ったほか、千秋公園観桜会や竿燈まつり等の各種イベントでの巡回活動も行った。	地域や関係団体と連携を図りながら、引き続き街頭巡回を行っていく。	少年指導センター

基本施策4-4 次代を担う若者の育成支援

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
高校生(ハローワーク秋田管内)の県内就職の割合	78.2%	77.5%	82.4%	73.4% (令和8年2月末時点)	89.1%	B	高校生就職支援講座を開催し、地元就職の促進に努めた。	令和9年度から開始する地元就職応援金を周知するとともに、高校生教諭等からヒアリングを行い、就職支援講座の内容の見直しや、学生と企業の接点づくりなど新たな手法を検討していく。	企業立地雇用課
県内の就職後3年以内の離職率	30.7%(高卒) 32.6%(大卒) ※令和2年3月卒業生	31.4%(高卒) 33.7%(大卒) ※令和3年3月卒業生	30.2% (高卒・大卒ともに)	33.0%(高卒) 36.1%(大卒) ※令和4年3月卒業生	-460.0%(高卒) -145.8%(大卒)	D	新入社員を対象とした「フレッシュマンの集い」と入社2年目以降の若手社員を対象とした「若手社員向けステップアップ研修」を開催し、新卒新入社員の早期離職抑制に努めた。	キャリア形成や仲間づくりを支援する「フレッシュマンの集い」や「若手社員向けステップアップ研修」を継続するとともに、企業を対象に働きやすい職場環境づくりを促進する手法を検討していく。	企業立地雇用課

基本目標5 ワーク・ライフ・バランスの推進

基本施策5-1 ワーク・ライフ・バランスの推進

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
秋田県労働条件等実態調査報告書の項目「育児休業取得率」	95.3%(女性) 32.6%(男性)	95.9%(女性) 33.5%(男性)	98.2%(女性) 77.5%(男性)	97.4%(女性) 48.2%(男性)	99.2%(女性) 62.2%(男性)	B	育児休業等に関する情報を、ホームページに掲載するなどの周知活動を行った。	男性の育児休業取得率は全国平均よりも高いものの、目標値を達成するため、今後の取得率向上に向けた手法を検討していく。	企業立地雇用課
なでしこ秋田・働く女性応援事業の助成企業数	12件	4件	令和7年度から令和11年度までに計50件	9件	18.0%	D	仕事と子育ての両立支援に取り組む市内企業に対し、職場環境の整備費用を補助し、女性が働きやすい職場づくりを促進した。	資材費や燃料費の高騰により、職場の環境整備の優先順位が下がっているが、企業からのヒアリングによりニーズの把握に努める。	企業立地雇用課

基本目標6 安全・安心な生活環境の整備

基本施策6-1 こどもの安全確保

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
こどもの交通事故死傷者数(中学生以下)	38人	28人	30人未満	29人	112.5%	A	子どもを交通事故から守るため、幼稚園等を対象とした交通安全教室を実施したほか、季節毎の交通安全運動期間中などに、交通安全に関する広報・啓発活動を実施した。	幼稚園等を対象とした交通安全教室を実施するほか、季節毎の交通安全運動期間中などに、交通安全に関する広報・啓発活動を実施する。また、放課後に学童保育に通う児童に対して交通安全啓発・広報活動を実施する。	交通政策課

基本施策6-2 子育てを支援する生活環境の整備

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
都市公園のバリアフリー化率	74.4%	74.9%	83.5%	75.3% (165公園/219公園)	90.2%	B	八橋畝沼街区公園について、園路等の改修を行い、バリアフリー化を実施した。	現在活用している国の交付金事業の予算が十分に確保できるか不透明な状況にあり、計画的な整備が困難となることが懸念される。	公園課
子育てにやさしい施設の認定数	累計194施設	累計194施設	累計220施設	累計193施設	87.7%	B	子育てにやさしい施設の公共施設データについて、最新の情報に更新した。	※令和7年度で事業終了	子ども総務課

基本目標7 こどもと家庭へのきめ細かな支援

基本施策7-1 児童虐待防止対策の充実

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
児童虐待により、死亡または重大な後遺症を残す事例の発生件数	0件	0件	0件	0件	100%	A	要保護児童対策地域協議会を活用しながら、子ども家庭センターを運営し、児童虐待の未然防止および早期発見、早期対応に努めた。	引き続き、要保護児童対策地域協議会を活用しながら子ども家庭センターを運営し、児童虐待の未然防止および早期発見、早期対応に努める。	子育て相談支援課

基本施策7-2 ひとり親家庭の自立支援の推進

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
児童扶養手当受給者に占める就業者の割合	89.7%	90.3%	92.4%	89.5%	96.9%	B	秋田公共職業安定所と協定を結び支援を行った。	秋田公共職業安定所と引き続き連携を図る。	子ども福祉課

基本施策7-3 障がい児等に対する支援の充実

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
児童発達支援、放課後等デイサービス事業者の連携を強化するため、秋田市障がい者総合支援協議会児童部会が主催する、交流会や研修会に参加した事業者の割合	—	64.3%	関係事業者の100%	69.2%	69.2%	C	障がい者総合支援協議会児童部会が主催する交流会等に45事業者が参加済。(令和6年度36事業者、令和7年度新規参加9事業者)。前年度値(R6)、実績値(R7)は、それぞれの年度の4月1日現在の事業者数(R7は65事業者)を母数とし算出した。	未参加の事業者をリスト化した上で、児童発達支援事業所等のスタッフである児童部会員たちの現場目線および障がい福祉課が行う運営指導の内容を踏まえながら交流会等のテーマを検討し、当該事業者の参加を促進する。	障がい福祉課

基本施策7-4 子育てに係る経済的支援の充実

指標	基準値 (策定時R5年度)	前年度値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	実績値 (R7年度)	達成率	評価	令和7年度進捗状況の説明	目標達成に向けた課題、今後の対応等	担当課
子育てで出費がかさむことに悩む人の割合 (①就学前児童の保護者 ②小学校児童の保護者)	①49.2% ②60.7%	—	①42.4% ②55.6%	—	—	—	妊娠支援給付金や子どもの福祉医療費、保育料の助成による経済的負担の軽減を図った。 ※指標に係るニーズ調査は5年に1度実施しており、次回は令和10年度に実施予定	福祉医療費および保育料の完全無償化は、毎年多額の予算が必要となることから、財源の確保に向け、慎重に検討を進めているところであり、国や県の動向を注視しつつ、財政状況を勘案しながら、実施時期を適切に判断していく。	子ども総務課